

備後国府跡 府中初の国史跡へ 府中市元町のツジ地区と金龍寺東地区

問い合わせ先 教育委員会総務課 (☎ 43-7180)



ミンチューとせんとくんも参加した国史跡指定セレモニー

府 中に広がる国府跡の中でも調査が進み実態が明らかとなつたツジ地区と金龍寺東地区を国史跡として評価されました。

結果、元町を中心とする府中市街地には、区画溝に囲まれた大型建物施設群や苑池など備後国府を構成する多様な遺構とともに、国府系瓦と呼ばれる文様が施された瓦、国産施釉陶器や貿易陶磁器といった高級食器や調度品、さらに文書行政事務が行われたことを示す硯などの役所に関わる遺物が確認され、8世紀ごろから12世紀末までの国府の成立から衰退までの様相を知るうえで重要な遺跡であると評価されました。

世紀に書かれた「和名類聚抄」という文献に「国府在葦田郡」と記述されていたことや、現在に残る「府中」

備

後国府とは、古代備後国を統治するために置かれた行政のこととで、10

世に残された文献などから推定し、昭和57年からはじまり、昭和63年からは、府中市教育委員会が主体として、発掘調査を継続してきました。

国

府跡を探求する30年以上にわたる発掘調査の結果、元町を中心とする府中市街地には、区画溝に囲まれた大型建物施設群や苑池など備後国府を構成する多様な遺構とともに、国府系瓦と呼ばれる文様が施された瓦、国産施釉陶器や貿易陶磁器といった高級食器や調度品、さらに文書行政事務が行われたことを示す硯などの役所に関わる遺物が確認され、8世紀ごろから12世紀末までの国府の成立から衰退までの様相を知るうえで重要な遺跡であると評価されました。

広島県が主体となつた調査主体として、発掘調査を継続してきました。

世に残された文献などから推定し、昭和57年からはじまり、昭和63年からは、府中市教育委員会が主体として、発掘調査を継続してきました。

て指定するよう、6月17日に国の文化審議会が文部科学大臣に対して答申しました。答申後しばらくして、正式に指定となる予定です。

正規の答申をして、学大臣に対しても答申しました。

正規の答申をして、学大臣に対しても答申しました。

講師 広島大学 名誉教授
西別府元日さん

備後国府跡ミニパネル展

定員 120人

○広谷公民館

とき 8月31日(水)まで
問い合わせ先 広谷公民館
(☎ 45-3140) または
は教育委員会総務課 (☎ 43-7180)



第13回ふちゅう歴史
備後国府国史跡
記念イベント
フォーラム

とき 7月2日(土)14時～
とき 7月8日(金)まで8時30分～17時15分
問い合わせ先 教育委員会
総務課 (☎ 43-7180)
43-7180

備後国府跡の展示

常設展示として、展示しています。

開館時間 10時～17時
休館日 祝日を除く月曜日

ところ・問い合わせ先 府中市歴史民俗資料館 (☎ 43-4646)

とき 7月13日(水)～8月15日(月)9時30分～19時
問い合わせ先 図書館本館 (☎ 43-4343)
43-4343